

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名	和歌山県
取組市町村名	全域
取組の名称	わかやま健康と食のフェスタ2016
取組内容	○目的 健康推進や食育に携わる団体、企業等と連携し、健康に関する特色のある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民の意識高揚を図り、健康寿命の延伸につなげるとともに、県の農水産物や郷土食などを知ることによって和歌山のすばらしい食を実感し、食育・地消を推進します。 ○開催日時 平成28年10月9日(日)10:00～16:00 ○参加者 一般 約8,000人 ○開催場所 和歌山ビッグウエーブ(和歌山市) ○内容 会場を「健康エリア」と「食エリア」とし、健康推進・食育に関わる情報を広く提供 「食エリア」 ・ステージイベント(調理実演、講演等) ・料理展示(見てなっとく!～紀州わかやま～食事バランスガイド) ・郷土料理展示 ・知ろう、伝えよう、和歌山の「食」～学校給食から～ ・試食(ジビエ、薬膳料理、和歌山の食材を使った料理) 「健康エリア」 ・健康チェック ・各種健康相談 ・運動体験 ・健康づくりの取組展示 ・表彰式



～紀州わかやま～食事バランスガイドモデル料理展示

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名	和歌山県
取組市町村名	紀の川市
取組の名称	紀の川市食育フェア
取組内容	子どもから大人まで、市民一人ひとりが心身の健康を維持し、生きる力を身につけていくためには、何よりも「食」が重要です。 「食」に関する知識・食べ物の大切さを実感・体感することで、「食」への関心を高めてもらうことを目的に、紀の川市食育フェアを毎年開催しています。 本年度も来場者数の増加を目的に、紀の川市産業まつりと共同開催し、約6,000の方が訪れました。 ■テーマ ～たのしい、おいしい「食」を育む きのかわ市～ ■日 時 平成28年11月13日(日) 9:30～15:30 ■会 場 貴志川生涯学習センター (紀の川市貴志川町長原447-1番地) ■内 容 ○食育に関する展示・体験コーナー ○野菜・果物を使用した料理体験 ○地場農産物・加工品等の販売・ふるまい ○ジャンボ巻き寿司作成体験 ○無料歯科検診・ブラッシング指導 ○Let'sキッズクッキング!!(ステージイベント)

食育月間以外の取組実績 (食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名	和歌山県
取組市町村名	印南町
取組の名称	印南町立稲原中学校での食育活動
取組内容	①栄養教諭による食育指導及び給食指導を各学年実施しました。3年生は、稲中農業で栽培した野菜と餅米(お餅)を使った調理実習を行う計画にしています。 2年生食育指導から…「疲労回復のための食生活を知ろう」 ～学習と部活の両立をめざして～ 疲労回復の観点から自分の食生活を振り返り、学習と部活動の両立をめざして、自宅でできることは何かを考えました。また、スポーツ時の正しい水分補給について学び、スポーツ飲料を実際に作って飲みました。 ②農業体験学習(稲中農業)では、稲作及び冬野菜の栽培を通して、食文化の継承・自然の恵みや勤労の大切さと理解等食育指導にも取り組んでいます。 JAみなべいなみの方に協力いただき冬野菜を植えました 収穫した餅米を使って保護者や地域の方々と「餅つき大会」を実施し、全員で会食しました。 ③保護者対象に給食試食会を実施しました。献立は「焼き鳥ご飯、ぽん酢和え、みぞれ汁、牛乳」で和食のご飯給食でした。みぞれ汁は初めての方が多く大変好評でした。 ～保護者の方から感想～ ・家では作らないものばかりなので、こんな風にしたらおいしくできるのだなと思いました。 ・野菜が多くて良かった。みぞれ汁は大根が苦手な子には食べやすかったと思う。 ・薄味かなと思いましたが、身体にいいのかなと思いました。 ④印南町の地場産物や郷土料理を取り入れた給食を実施しました。 ⑤保健委員会が毎日給食献立を放送し、給食メニューを1食分考案しました。

食育月間以外の取組実績

(食育月間を除く 4月～12月の実績)

提出都道府県名	和歌山県
取組市町村名	全域
取組の名称	梅干しで元気!!キャンペーン
取組内容	小学校及び特別支援学校の皆さんに、日本古来の加工食品であり、本県の特産品でもある「梅干し」の歴史や生産方法などについて学んでもらい、自分の食について関心を持ってもらう契機となるよう、「梅干しで元気!!キャンペーン」を実施しました。 キャンペーンでは、和歌山県漬物組合連合会の協力により、県下全小学校及び特別支援学校の全児童・生徒・教職員の皆さんに梅干しと学習資料を配布し、実際に梅干しを食べてもらうなど、楽しみながら梅干しについて学んでもらいました。 (実施校数:262校、対象者:約54,300名) また、梅干製造業者(県漬物組合連合会員)の方が小学校に直接出向き、児童の皆さんと交流しながら梅干しについて学んでもらう「梅と梅干しのお話説明会」を開催しました(県下7校)。